

2017年度 実用英語技能検定 試験日程のご案内

～二次試験を2日間設ける新たな取り組みを実施～

公益財団法人 日本英語検定協会（理事長：松川孝一、所在地：東京都新宿区、以下「英検協会」）は、来年度、2017年度の実用英語技能検定の試験日程を以下の通り、発表いたします。

【2017年度 実用英語技能検定(一次試験/二次試験)の試験日程】

来年度日程では、一定の制限を設けますが、二次試験日を2日間設定いたします。（「A日程」、その1週間後に「B日程」）

試験日程		第1回検定	第2回検定	第3回検定
受付期間		3月10日～5月12日 (書店締切：5月8日)	8月7日～9月15日 (書店締切：9月8日)	11月21日～12月20日 (書店締切：12月13日)
一次試験	本会場	6月4日(日)	10月8日(日)	2018年 1月21日(日)
	準会場 (すべての団体)	6月3日(土)、4日(日)	10月7日(土)、8日(日)	1月20日(土)、21日(日)
	準会場 (中学・高校のみ)	6月2日(金)	10月6日(金)	1月19日(金)
二次試験	A 日程	7月2日(日)	11月5日(日)	2018年 2月18日(日)
	B 日程	7月9日(日)	11月12日(日)	2018年 2月25日(日)

【二次試験のA/B日程の分けについて】

団体申込

団体区分	1級、準1級	2級、準2級、3級
中学校 高等学校	A 日程	A 日程
小学校 その他団体		B 日程

個人申込

年齢区分	1級、準1級		2級、準2級、3級
	東京・神奈川・千葉・埼玉・愛知・大阪・兵庫 に在住	左記以外	
20歳以下	A 日程	A 日程	B 日程
21歳以上	B 日程		

<団体申込>

- 団体申込において、中学校・高等学校の受験者は、全級 A 日程での受験とする。
- 小学校・その他団体の受験者は、1級・準1級は A 日程、2級・準2級・3級の受験者は B 日程での受験とする。
- ただし、学校行事や部活動など公的な理由で A、B それぞれの指定日程で受験いただけない小学校・中学校・高等学校からの団体申込受験者は、学校長からの書面での依頼を提出いただくことでもう一方の日程に変更可能とする。

＜個人申込＞

- 個人申込において、1級・準1級の受験者については、東京・神奈川・千葉・埼玉・愛知・大阪・兵庫に在住で、来年度、満20歳以下の受験者はA日程、満21歳以上の受験者はB日程での受験とする。それ以外にお住まいの方は年齢を問わずA日程での受験とする。（満年齢の算定方法につきましては、申込要項にて詳細をご案内いたします。）
- 2級・準2級・3級の受験者については、住まいおよび年齢の制限はなく、B日程での受験とする。

【新日程に至った背景】

全国で、団体受験をされる中学校や高等学校が年々増加する一方、年3回の検定回では、「部活動の公式大会や学校行事等と実用英語技能検定の日程が重複することがあり、別日程で受験できるようにならないか」といったご要望が英検協会に寄せられています。

また、ここ数年、4技能をバランスよく測定できる、実用英語技能検定をはじめとする外部の資格・検定試験の活用が広がりをみせ、今後、高校入試にも波及するものと予想されます。

上記の傾向から、高校生は大学入試、中学生は高校入試に臨む上で、実用英語技能検定のスコア提出が求められる可能性に鑑み、中学校・高等学校の団体受験者には入試出願日程に間に合うよう、成績表が早く届くA日程での試験日の設定を試みました。一方で、団体受験（A日程）では日程が合わない中学生・高校生の志願者については、個人で申し込みいただくことで別日程（B日程）を選択でき、受験の機会を増やすことができるよう配慮しました。

【新日程における中学・高校団体受験者のメリット】

中学校・高等学校の団体受験者は、1週間日程の早まる「A日程」になることで、大学や高等学校の入試に出願できる日程までに、お手元に成績表が届くようになります。

＜例：団体（学校）への成績表必着日＞

第1回検定：A日程：7/17 成績表必着（※B日程では7/24）

⇒夏休み前に生徒は成績表を受け取ることができることから、夏休み中に大学のAO入試に出願できます。

（出願時期：8月～）

第2回検定：A日程：11/20 成績表必着（※B日程では11/27）

⇒中学校では11月末～12月初旬の三者面談に間に合い、現状の実力に応じた志望校検討を行います。

また、大学の推薦入試出願は11月からが多く、成績によっては推薦に間に合います。

英検協会は、今後共にも受験者の利便性を踏まえ、試験の質の向上はもちろんのこと、運用面においても、受験者の皆様に配慮して実施してまいります。



■公益財団法人 日本英語検定協会について

公益財団法人 日本英語検定協会は、「実用英語の普及と向上」を目的に1963年に設立されました。以来、実用英語技能検定の実施・運営のほか、児童向けの「英検Jr.（旧・児童英検）」やビジネスパーソン向け英語能力テスト「BULATS（ブラッツ）」、留学・海外移住のための英語運用能力試験である「IELTS（アイエルツ）」、大学入試に対応した4技能型アカデミック英語能力判定テスト「TEAP（ティーブ）」、さらには英語教育に関する優秀な研究企画に助成金を交付する「英検研究助成」制度など、実用英語の普及・向上に向けた様々な取り組みを展開しています。2012年4月、内閣府からの認定書交付を受けて正式な団体名称を「公益財団法人 日本英語検定協会」に改めています。

英検協会ウェブサイト：<http://www.eiken.or.jp/>